

保土ヶ谷区民会議ニュース

やまびこ



編集 保土ヶ谷区民会議 広報委員会

発行 第23期 保土ヶ谷区民会議

事務局 〒240-0001

横浜市保土ヶ谷区川辺町2-9

保土ヶ谷区 区政推進課広報相談係内

TEL 334-6223 FAX 333-7945

令和元年7月15日発行

第23期保土ヶ谷区民会議が新体制で発足

平成31年4月20日(土)、委員79名、相談役1名、区役所から菅井区長以下4名の出席を得て、第23期区民会議総会が開催され、運営委員23名が承認されました。引き続き代表委員に小林由美子委員が、副代表委員に平本勉委員が再任されるとともに新たに長山昌利、内藤好夫、川上吉夫の各委員が副代表委員に選出され、今期から副代表委員は4名の新体制で発足しました。

【テーマ】未来につなごう！人にやさしいまちづくり～すきです 保土ヶ谷 マイタウン～
【活動方針】

第23期保土ヶ谷区民会議は、区民自身の手による区民のためのまちづくりの場として、区民の声を反映し、いつまでも住み続けたいまち保土ヶ谷をめざし活動します。

- 1 区民会議の基本理念「広聴・提言・行動・発信」のもと、情報の収集・交換・共有を図り民主的な話し合いを通して行動・発信につなげ、活動を進めます。
- 2 区民と行政との協働によるまちづくりを推進するため、区民、行政、地区連合町内会(自治会・町内会)や、各種団体と連携を密にして「顔と顔の見える関係」を大切に、地域のさまざまな課題の解決をめざし活動を進めます。
- 3 「地域のつどい」「区民のつどい」を開催し、身近な視点での区民の生の声を収集し重要課題については、行政に提言・要望して区政に反映していただき、地域に還元します。
- 4 今期も前期に引き続き分科会・委員会で専門分野別に活動し、その成果は区民や関連団体に発信するとともに、キャンペーンの実施や冊子の発行、啓発活動などを行い、行政に係わる問題については提言をまいります。
- 5 「ニュースやまびこ」の発行や「ホームページ」への掲載、更に「広報よこはま ほどがや区版」や地元メディアも活用して、区民会議の活動を更に理解していただくための広報活動の充実を図ります。
- 6 協働契約に基づく区との協働事業をさらに推進していきます。

代表委員挨拶



日頃より区民の皆さまには、保土ヶ谷区民会議の活動に、ご理解ご協力をいただきありがとうございます。

この度、保土ヶ谷区民会議は、総勢111名の委員の下、上記のテーマ・活動方針を掲げ第23期がスタートいたしました。

今期も、環境・教育・交通・災害・福祉の分科会活動、「地域のつどい」・「区民のつどい」の開催、行政への提言・要望の提出と回答の地域への還元、等の活動を通じ、テーマである「人にやさしいまち」実現へ向けて活動を推進してまいります。区役所との協働契約に基づく新たな協働事業にも着手する予定です。

区民会議だからできること、区民会議でしかできないこと、これからも区民の皆さまにとって必要とされる存在＝区民会議であり続けたいと考えます。

今後とも、皆さまのご支援・ご協力よろしくお願い申し上げます。

保土ヶ谷区民会議代表委員 小林 由美子

区長挨拶



第23期保土ヶ谷区民会議の発足おめでとうございませう。皆様には、日頃から住みよいまちづくりの実現に向け、区民の皆様と行政とをつなぐ重要な役割を果たしていただき、心より感謝申し上げます。

今期は111名の方が委員として参加されています。分科会活動をはじめとした区民会議の活動をさらに活発に行っていただくとともに、平成28年度に締結した協働契約を踏まえ、区民会議と行政とで、地域の課題解決に向けた取組をより一層推進できることを期待しています。

区役所においても、運営方針の基本目標「いつまでも住み続けたいまち ほどがや」の実現に向け、職員一同努力してまいります。引き続き、どうぞよろしくお願い申し上げます。

保土ヶ谷区長 菅井 忠彦

今期の主な活動の紹介

◎テーマ及び活動計画

環境分科会

環境分科会は、新委員9名と前委員18名の、27名でスタートしました。テーマは、「未来へつなごう水・緑・資源」とし、サブテーマとして「自然環境・ゴミ問題・エコ問題」を、第22期に継続して活動いたします。6月には「温暖化対策取組」について、7月には「ヨコハマ3R夢（スリム）プランの取組」について、区役所係長を講師として、勉強会を実施して今後の活動に取り組み、区民に発信して行きます。特に、廃食油回収・廃プラスチック問題・環境家計簿への再挑戦等を区民の皆様のお力をお借りして参りますので、よろしくお願いいたします。



教育分科会

テーマ「子どもは未来のだから 地域ぐるみで子育てを！」

1. あいさつ運動の推進 ⇒ 地域でのあいさつの、更なる浸透を図ります。
2. 教育現場の実情を知る ⇒ 学校、教育機関を訪問します。最近、全国で子どもの交通事故・事件が多発しています。子どもたちを守るために、私たちができることを考えていきます。
3. 地域の子育ての実情を知る ⇒ 各地域の自治会・子ども会・キッズクラブの取り組みなどをリサーチ。地域ぐるみの子育てへ発展するための啓発活動を進めます。



交通分科会

第23期の交通分科会は委員12名の小規模な分科会で、テーマ・サブテーマは第22期のものを継続して、テーマは「安全な道路交通をめざして」、サブテーマは「自転車・歩行者の交通安全ルール・マナーの啓発」です。

これらのテーマ・サブテーマに沿って、従来からの課題である「自転車歩行者の交通安全」のための活動により積極的に取り組むとともに、第22期に着手した「モデル地区の設定」の実現に向かって対象地域の皆様や関係行政機関・警察当局と十分な話し合いを行い、その具体化を図ってまいります。



災害分科会

「保土ヶ谷の 我が家は 家族の防災拠点」から自助（命を守る）・共助（いのちをつなぐ）を理解し、実践して頂くことを提案します。

- (1) HUG 出前講習会を推進します。
- (2) DIG 出前講習会を推進します。受講を各連合自治会・自治会に呼びかけますので、積極的に受講して下さい。
- (3) 保土ヶ谷区内の市立小学校キッズクラブを対象に「防災講習会」を呼びかけますので、積極的に受講して下さい。



福祉分科会

第23期の活動テーマを『学び 考え 発信する福祉分科会』と決定し、32名（新規：6名、継続：26名）でスタートしました。高齢化、家族の孤立化、DV、認知症、少子化、障がい者、在宅介護等々の福祉という広範囲の分野で、地域と行政とのパイプ役として、多くを学び、多彩なメンバーで協力、検証しながら、楽しく、有益な発信をして行きます。



横浜環境活動賞受賞

横浜環境活動賞とは、地域で様々な環境活動を積極的に行っている個人・団体・企業・学校などを表彰する制度です。第26回環境活動賞市民の部実践賞を、保土ヶ谷区民会議（環境分科会）が受賞しました。6月13日、横浜市長公舎にて行われた表彰式に区民会議正副代表委員、環境分科会座長が出席しました。



<広報委員会>

（委員長）内藤 好夫 （副委員長）藤田 浩彰 河野 桃弘

（委員） 富田 修一 鈴木 克利 金澤 隆文 新庄 茂 中島 康雅 太田 千卫 山田 明子 （順不同）